



南部町立南部中学校 学校だより 第4号

千一ム南部中

令和3年6月2日(水)
校長 望月和彦

「仲間を生かし 仲間に生かされる学校」

5月21日(金)に令和3年度の生徒総会が開かれました。生徒会事務局の生徒たちはこの日のために春休みから「今年度の生徒会活動をどのようなものにしたいか」という話し合いを重ね、目標やスローガン、活動計画の原案を検討し議案書を作成しました。5月17日には学級ごとに議案書検討が慎重に行われ、総会当日を迎えました。当日はたくさんの賛成意見が出され、決まった生徒会目標は「**仲間を生かし 仲間に生かされる学校**」、スローガンは「**“頑張る”を支える**」です。人には必ず長所、良いところがあります。135人全員がそれぞれの良さや長所に目を向け、それを伝え合うことで「自分がまわりから認められている」という安心感を持ち、良さをさらに伸ばし、課題を克服して成長していこうという願いが込められています。

その目標を達成するために、①**仲間の長所に目を向け、その良さを認められる南部中生** ②**自分の良さや可能性を認識し、理想に向かって努力できる南部中生** ③**相手の立場に立って考え、仲間のために関わり合える南部中生** という3つの柱が決まりました。これからの1年間の生徒会活動の中で、目標や柱を達成するための具体的な活動や取り組みが行われます。すでに、昨年度から生徒玄関には、学校生活の中でキラリと光る仲間の様子を紹介する「幸せボード」があります。まさに仲間の良さを認め、伝え合う取り組みの一つです。

また、議題の最後には、「身だしなみ自主規制」についての話し合いがありました。本校の校則は、学校として必要な最低限のルールだけを規定し、細かなきまりは定められていません。楽しく充実した集団生活を送るためにはどんなルールやマナーが必要かを、生徒たちが自ら考え、話し合い、決定していくことが、これから必要とされる力になるからです。そうした考えで、統合以来の先輩たちが考えて作り、修正してきたのが「身だしなみ自主規制」です。今回の総会では、髪をとめるピンのきまりが、現在の自分たちの状況では必要ないのではないかという修正案が出され、話し合いの結果そのきまりを削除することになりました。ルールは押しつけられるものではなく、みんなが納得して決めるものだとすることを学ぶ機会になりました。

全国学力・学習状況調査と山梨県学力把握調査

5月27日(木)に、3年生は「全国学力・学習状況調査」(全国学テ)を、2年生は「山梨県学力把握調査」(県学力把握テ)に臨みました。

全国学テは国・数の2教科のテストと生徒質問紙(学習や生活に関わる調査)、県学力把握テは国・数・英の3教科のテストで構成されています。この2つの調査は、生徒たちの学習の状況や理解の状況を全国や山梨県平均と比べながら把握・分析し、生徒個人や学校の学習課題を改善したり、教員の指導方法を改善したりして、生徒個々や学校全体の学力向上を図ることを目



的にしています。昨年度は臨時休業期間のために全国や県全体での一斉実施は行われませんでした。今年度は全国や山梨県内の中学3年生・2年生が同じ日の同じ時間に受検しています。夏休みには全国学力・県学力把握テストの結果が学校に戻ってきますので、生徒それぞれに個人の結果を返却して課題を改善させるとともに、全体の結果を分析し、本校の教育活動や具体的な教科指導の改善に役立てていく予定です。

県大会の結果 ～男子バレー一部準優勝～

峡南地区大会を勝ち抜いた野球部と男女のバレー部が県大会に挑みました。例年より中学から競技を始めた生徒が多いな



か、3年生を中心に2年生、1年生も選手として、また応援サポーターとして、「南部中」の名を背負って一丸となって戦いました。新人戦から日々の練習に精一杯取り組んできた成果を発揮し、峡南地区の代表として立派な戦いができたと思います。その結果、男子バレー部は決勝まで駒を進めることができ、全国から選手の集まった日本航空中には敗れたものの「準優勝」となりました。県大会の結果は次の通りです。今週は地区総体があります。各部の健闘を祈ります。

野球	5/15(土)	富沢球場	櫛形中と対戦し1-3敗退
男子バレー	5/29(土) 5/30(日)	御坂中	1日目、都留二・甲西中とともに2-0で勝利。2日目、準決勝で押原中に2-0で勝利、決勝で航空中に0-2で敗退 準優勝
女子バレー	5/29(土)	石和中	1日目、河口湖南中に2-0で勝利、押原中に0-2で敗退

学校開放期間に寄せられた感想

本校では、「地域とともにある学校づくり」を推進するために、各学期に3日間の「学校開放期間」を設けています。最初の開放期間を5月19日(水)から21日(金)に行いました。期間中に学校運営協議会や小中連携授業参観なども並行して実施したこともあり、保護者、身延高校や町内小学校の先生方、教育委員や学校運営協議会関連の方々など合計30名の方々が、密を避けながら授業や生徒たちの活動の様子を参観してくださいました。参観して下さった方々の感想を紹介します。

- 一人一人が授業に集中して参加していますごく良いと思いました。開放日に来て良かったです。(保護者)
- 英語の授業を参観させていただきました。生徒一人一人が発言し、元気に先生とやりとりする姿が印象的でした。生徒の授業から離れた発言も拾って授業につなげ、楽しい雰囲気づくりはすごいなと思いました。<略>(高校教員)
- 社会、国語、英語の授業を参観させていただきました。どのクラスも皆静かに集中して、教師の説明を聞き、しっかりノートを取っていました。積極的に発言しているクラスもあり、教師と生徒のコミュニケーションの良さを感じるクラスもありました。校内もしっかり整頓され、教室には掲示物が充実していて、学級担任の意欲の高さを感じられました。(高校教員)
- <略>英語・理科の授業を見せていただき、他の小学校から来た子たちと元気に明るく授業に参加している姿を見ることができ安心した。学級担任制から教科担任制に変わる中学校。そのギャップにつまづかないようにこういう機会(小中連携授業参観)が今後も必要だと思う。まずは、小中の教員同士が互いの校種の文化を学び合うことが必要だと思う。(小学校教員)
- どの学年・クラスも良い雰囲気で一糸懸命取り組んでいました。生徒たちと教師との関係が良く、見ているこちらも楽しい気持ちになりました。(小学校教員)
- (略)生徒たちの爽やかなあいさつで迎えていただき、目を輝かせながら集中して主体的に授業に取り組む姿や課題に対して真剣に話し合う様子が見られ、南部中生徒の素晴らしさに改めて感心しました。このような授業を通して、生徒たちはより深く、広く、学びを実現させていくのだと思いました。(教育委員)